

【R6】ECOコン アイデア企画書（記載例）

提出日 令和 年 月 日

| | | |
|-----|---|---|
| 応募者 | 代表者所属・氏名 ※氏名にはふりがなも記入してください。 | |
| | 県庁大学 温暖化対策課学部 環境活動推進学科 3年 県庁 太郎（けんちょう たろう） | |
| | 団体・グループで参加される方は、団体名（グループ名）を記入してください。 | |
| | 県庁大学 温暖化対策サークル | |
| | 活動人数 | |
| | 5 | 人 |

| | | | | |
|-----|--------|--|----------|--|
| 連絡先 | 住所 | 〒 | 010-8570 | |
| | | 秋田市山王四丁目1-1 | | |
| | 電話番号 | 018-860-1560 | | |
| | E-mail | en-ondanka@pref.akita.lg.jp | | |

活動内容は裏面にご記入ください。

| 活動内容 | |
|--------------------------|--|
| アイデアの名称 | ナッジを活用して階段の使用を促進！ |
| 目的 | (何を実現するか・解決する課題など、活動の目的を記入してください。) 地球温暖化防止のため、省エネに取り組みたいと考えた。身近なところで毎日使うエレベーターに着目し、エレベーターを使用している人を階段使用に誘導することで、電気使用量の削減を図る。 |
| ターゲット | (行動を変えさせたいターゲットをなるべく具体的に記入ください。) 特別な事情はないが、上りも下りもエレベーターを日常的に使用し、階段を使用していない人。 |
| ターゲットが行動しない理由 | エレベーターは階段よりも少ない労力で移動できる。そのため多くの人は階段に魅力を感じず、楽な移動方法のエレベーターを選択するから。 |
| 行動変容に必要なこと | (どんな要素があれば行動を変えさせることができるか記入してください。) 階段使用のメリットを周知し、階段使用へ意識を向けさせる。 |
| ナッジの活用箇所 | (行動を変えるために、ナッジ理論の活用箇所を教えてください。) ナッジ理論を活用したイラストや文字を用いた貼紙をして階段への関心を引き、強制されることなくエレベーターから階段に誘導できるような仕掛け作りを行う。 |
| 実践内容 | 選考された場合、実践内容やスケジュール等の詳細はアドバイザーと相談しながら決めていきますので、大まかなイメージでかまいません。 県庁舎のエレベーターのボタン付近に、電気使用量や消費カロリーを訴える貼紙を掲示し、職員を階段へと誘導する。「貼紙が無い状態(ナッジ介入前)」、「電気使用量に関する貼紙を掲示した状態(ナッジ1)」、「消費カロリーに関する貼紙を掲示した状態(ナッジ2)」の3パターンを比較し、効果を検証する。 例)「階段を使用すると、角砂糖2個分のカロリーを消費できます」と記載した貼紙を掲示 |
| 活動場所 | 秋田県庁舎5階 エレベーターホール |
| 実践の方法 | エレベーター前で降下時の階段使用者及びエレベーター使用者を目視で視察(各日午前・午後で1時間30分ずつ) |
| スケジュール | 8月：貼紙の作成、各種申請等準備 9月：実証実験 ●貼紙が無い状態(ナッジ介入前) : 9月2日～6日 ●電気使用量に関する貼紙を掲示 : 9月9日～13日 ●消費カロリーに関する貼紙を掲示 : 9月16日～20日 10～11月：まとめ・実施報告会に向けた準備 |
| 効果検証方法 | ナッジ介入前と介入後の期間において、階段とエレベーターの使用割合をそれぞれまとめ、電気使用量を算出する。ナッジ介入前と介入後の電気使用量を比較することでナッジによる削減効果を検証する。 |
| 経費が発生するもの ※支援上限20万円程度 | (活動を実施するにあたり、経費が発生するものを記入してください。) 例：チラシ等の印刷物、看板等の設置物、フロアマーキング等の装飾 ・貼紙の印刷費用(3箇所 計3枚) |

※記入欄が足りない場合は、行を増やすなど適宜スペースを拡大してください。

※参考となる資料等がある場合は添付してください。

※企画書は4枚まで、添付資料は5枚までとします。(A4サイズ、裏表印刷可)